

ちょう かく しょう しゃ ほう さい たい さく

聴覚障がい者防災対策 イラストマニュアル

じぶん いのち じぶん まも
『自分の命は自分で守る』



だい かい ほうさい たいしょう
第 14 回 防災まちづくり大賞

しょうほうちょうちょうかんしょうじゅしょう
「消防庁長官賞」受賞

さいがい
災害はいつ、どこで起こるかわかりません

じぶん いのち じぶん まも
「自分の命は自分で守る」を合言葉に
あいことば お っ こうどう
落ち着いて行動する

じ しん
地 震



こうずい おおあめ
洪水(大雨)



か じ
火 事

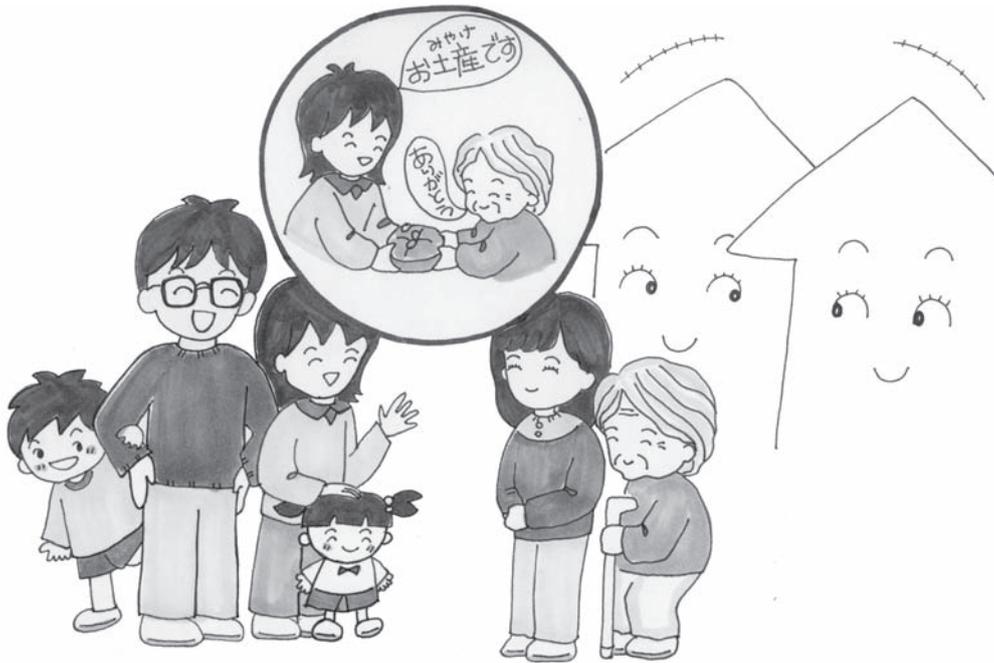


地 震

じしん お まえ ひころ ころがま
地震が起きる前の日頃の心構え

ちいき ひとたち こうりゆう
地域の人達と交流する

となり きんじょ ひとたち あいさつ き こえな いこ とを し っ て も ら い、 さいが い と き
隣や近所の人達と挨拶をして聞こえないことを知り、災害の時に
たす 助けてもらいましょう。



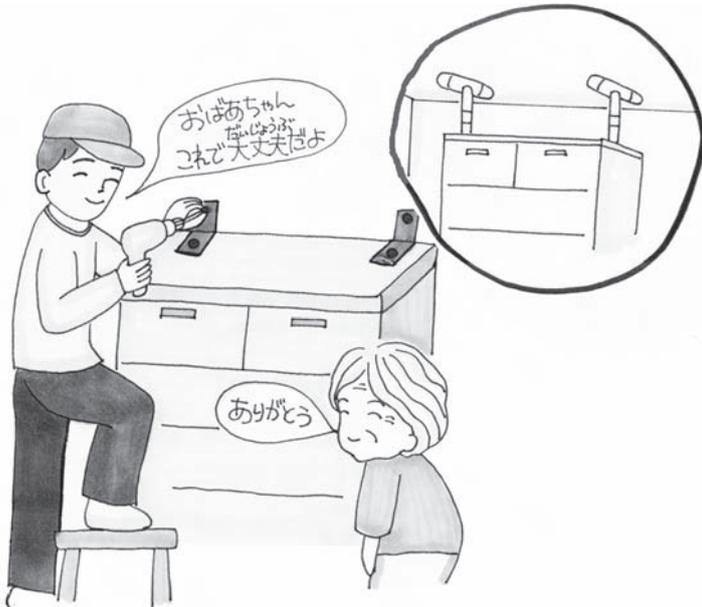
ほうさいくんれん さんか
防災訓練に参加する

くんれん さんか き こえな いこ とを し っ て も ら い、 ひなん ほうぼう ひなんじょ
訓練に参加して聞こえないことを知り、避難の方法や避難所を
おぼ 覚えましょう。



てんとう たお らっか お ぶせ
 転倒(倒れる)や落下(落ちる)を防ぐポイント

① タンスや食器棚をし字型金具や支え棒で
 倒れないようにする



② 食器棚

中の食器が飛び出さないように!!

- ◆ ガラスにフィルムを貼る
- ◆ 食器の下に滑にくいシートを敷く



③ 照明器具

◆ 鎖と金具で固定(留める)

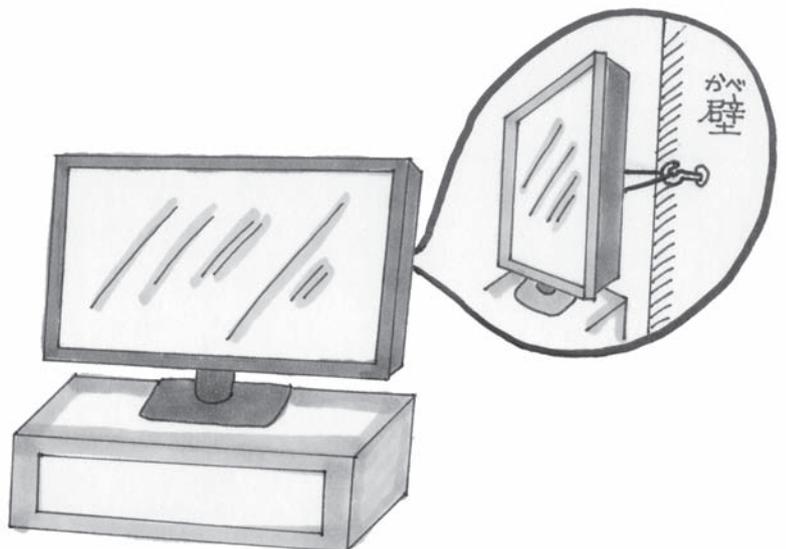
3箇所位は留める



④ テレビ

◆ 低いところへ置く

耐震マット・転倒防止ワイヤーで
 倒れて落ちないようにする



さいがい お まえ じゅんぴ もの 災害が起きる前に準備する物

もちだすもの 持ち出す物のチェック

- ◆ さいがい お あときゅうえんぶっし た ものなど とど
災害が起きた後 救援物資（食べ物等）が届くまで
みっかかんくらい ひつよう
は3日間 位 かかる（必要）。
- ◆ ひなん とき も に もの すく
避難する時に持って逃げる物は、できるだけ少なくする。

① かんい ほぞん しょくひん 簡易保存食品

みず か みず かん そくせき しる
水（買った水）、乾パン、即席みそ汁
インスタントラーメン、缶詰
ひじょうしょく みず い つく
非常食（水などを入れて作る）

② ふえ アイディ 笛（IDカード入り）

③ かいちゅうでんとう 懐中電灯

④ しきもの 敷物・タオル

⑤ かんき 缶切り、ナイフ

⑥ くすり 薬 など

⑦ したぎ ぐんて 下着、軍手

⑧ マスク

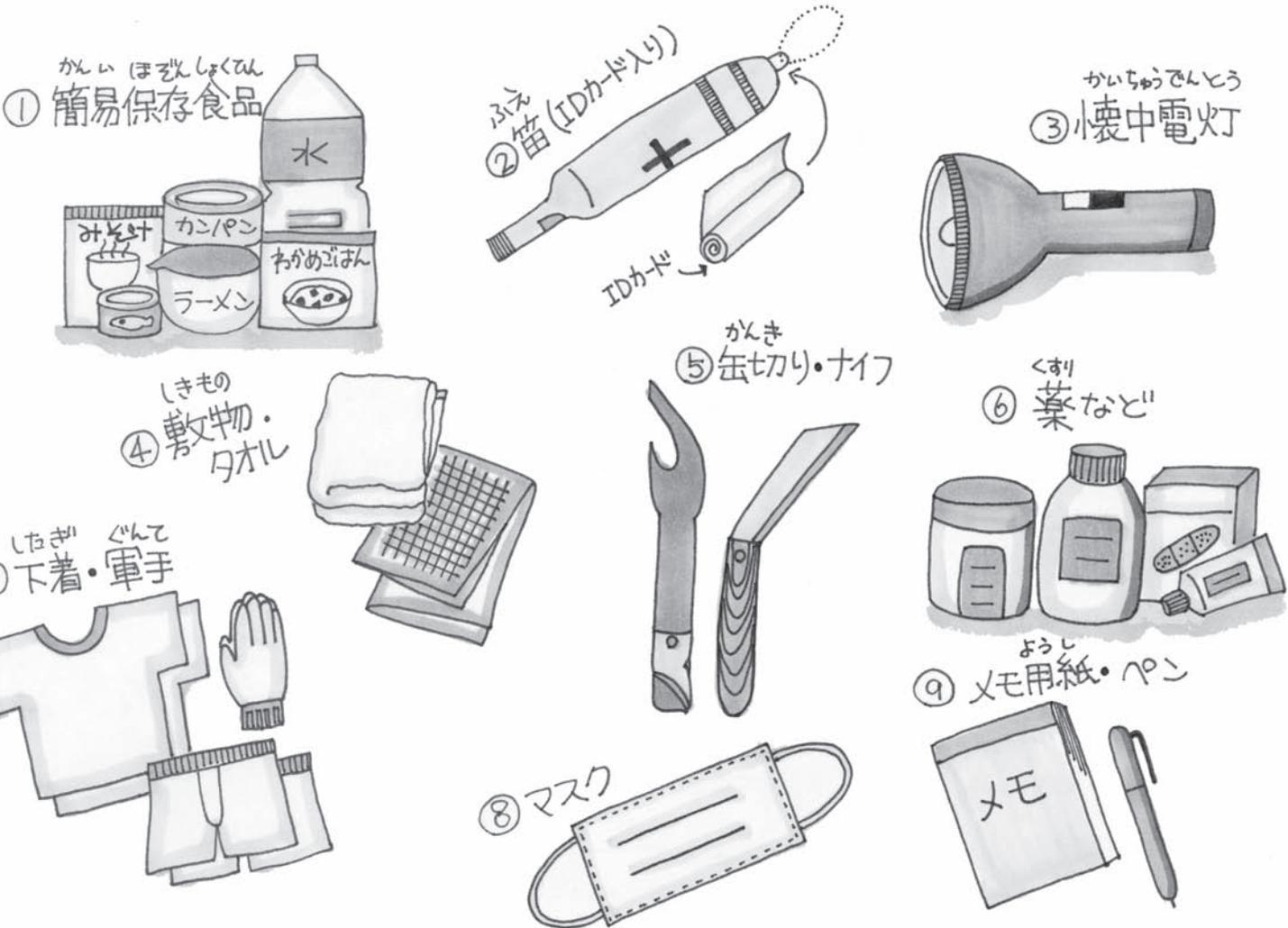
⑨ メモ用紙・ペン

ちゅうい くだ 注意して下さい

◇ 持ち出すものは
おも
重くならないよ

うにする

◇ 水などは1年1回
ぼうさいくんれん ひ
防災訓練の日に
ほぞんきかん しら
保存期間を調べ
ると良い



ライフライン（水道・ガス・電気・FAX）が止まったら

水 道

さいがい お まえ じゅんび
災害が起きる前の準備

いちにち ひつよう みず ひとり りっとる
◆一日に必要な水は一人3L

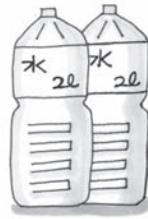
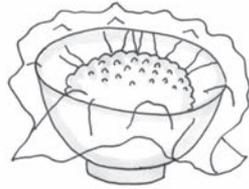
りっとる ほん じゅんび
(2L ペットボトルを2本) 準備する

ふろ みず い
◆お風呂にいつも水を入れておく

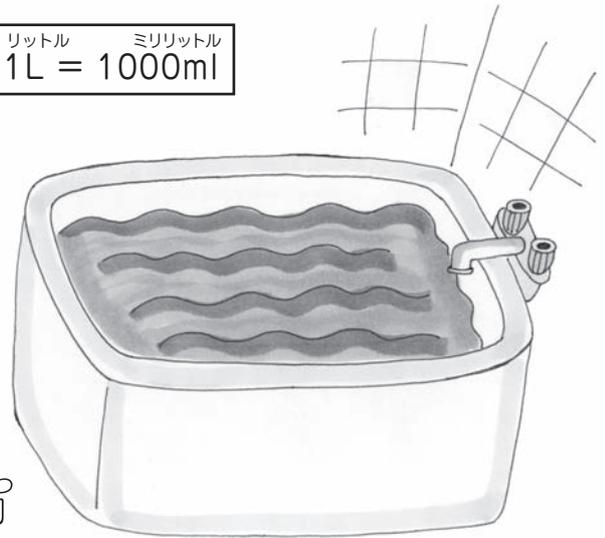
さいがい お あと ちゅうい
災害が起きた後の注意

しょっき つか あら よ
◆食器にラップをかぶせて使うと洗わなくても良い

こめ みず す かお あら みず たいせつ
◆米のといだ水を捨てないで顔を洗い、水を大切に使う



ちゅうい リットル ミリリットル
注) 1L = 1000ml



ガ ス

さいがい お まえ じゅんび
災害が起きる前の準備

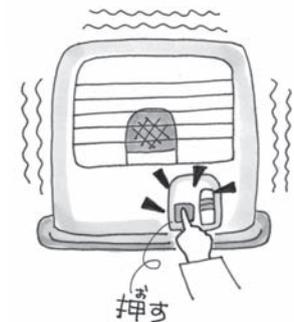
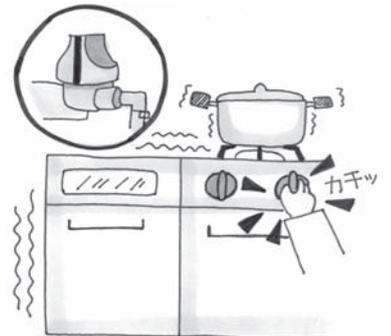
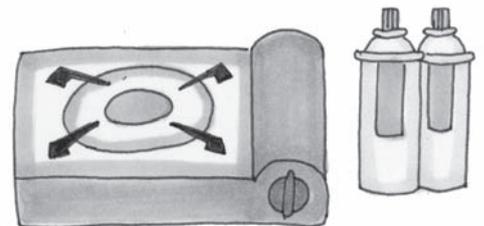
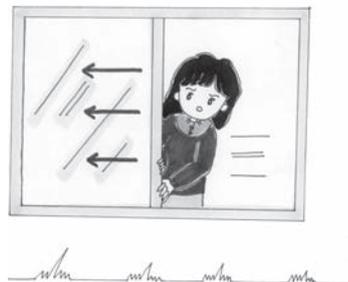
たくじょう じゅんび
◆卓上コンロ、カセットボンベを準備する

さいがい お あと ちゅうい
災害が起きた後の注意

いちばん ひ け もとせん し
◆まず一番に、ガスの火を消して元栓を締める
ストーブなどの火を消す

も くさ わか まど
◆ガス漏れ（ガス臭い）が分かったら窓を
あ かんき
開けて換気する。

ばくはつ しんばい かんきせん
(爆発の心配があるので換気扇はつけない)



でん き
電 気

さいがい お まえ じゅんび
災害が起きる前の準備

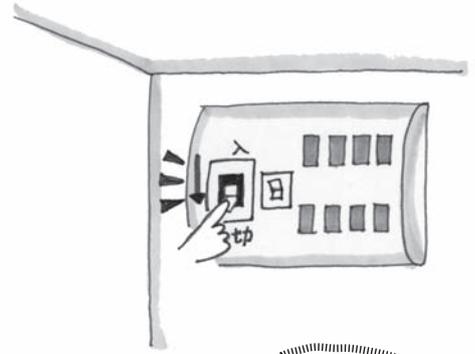
かいちゅうでんとう まくら お
◆懐中電灯を枕のそばに置く

かいちゅうでんとう
懐中電灯



さいがい お あと ちゅうい
災害が起きた後の注意

- ◆コンセントからプラグを抜く
- ◆避難する時にブレーカーを必ず切る



ファックス けいたい
FAX・携帯

さいがい お まえ じゅんび
災害が起きる前の準備

- ◆災害時伝言板の使い方を覚える



でんわせん や でんせん
 電話線や電線が
 切れたり回線が
 混み合ったり通じ
 ないことがあります

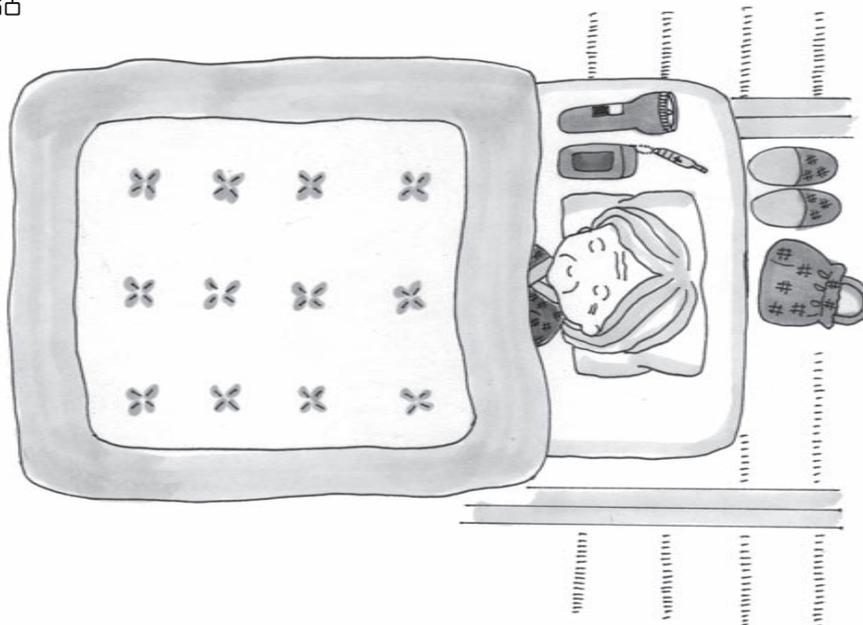
さいがい お あと ちゅうい
災害が起きた後の注意

- ◆地震が起きた後携帯メールやFAXが通じないことが多い
- ◆避難所で親戚に連絡したい時は近くのひとにお願いする



ね ふとん ちか じゅんび もの
寝ている布団の近くにいつも準備する物

- ◆懐中電灯 ◆スリッパ(靴) ◆笛 ◆いつも持っているカバン(バッグ)
- ◆携帯電話



ひなん みち ばしょ かぞく はな あ
避難する道、場所を家族と話し合う

かぞく きんじょ ひとたち いっしょ ひなんじょ ある
家族や近所の人達と一緒に避難所まで歩く

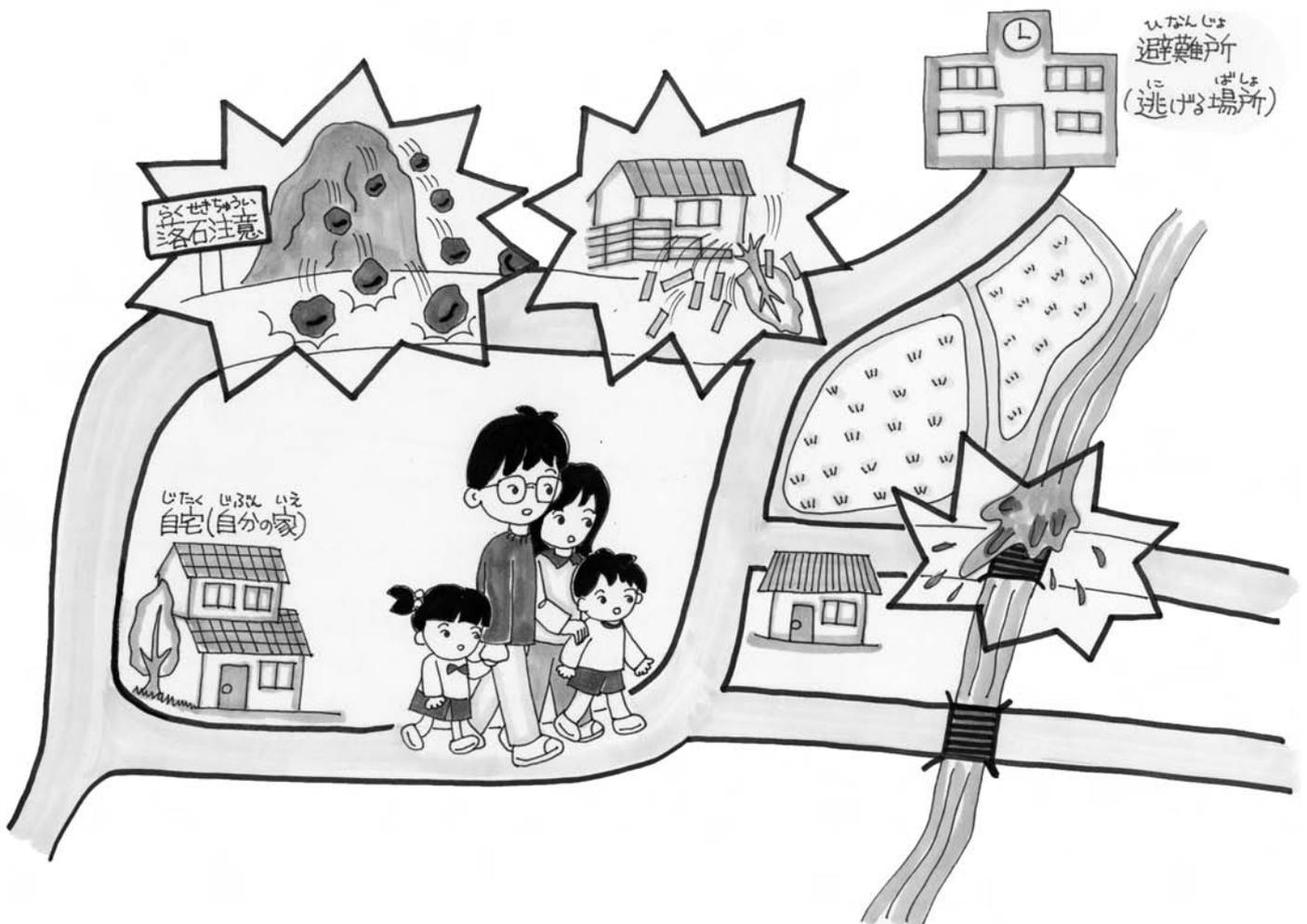
ひなん みち
避難する道のチェック

じしん おおあめ やま ところ かくにん
*地震や大雨でガケや山がくずれそうな所を確認する!!

おおあめ ふう みず きけん ところ かくにん
*大雨が降って水があふれる危険な所を確認する!!

じしん へい たお ところ かくにん
*地震でブロック塀が倒れたり、くずれそうな所を確認する!!

かさい とき みち せま しょうぼうじどうしゃ とお しょうかせん
*火災の時 道は狭くないか? 消防自動車は通れるか? 消火栓は
どこにあるか? など かくにん
どこにあるか? 等を確認する!!



地震が発生したら!!

「自分の命は自分で守る」を忘れないように

1. 慌てないこと 2. 落ち着いて行動すること

グラッと大きな地震が起きたら

ゆれが止まったら

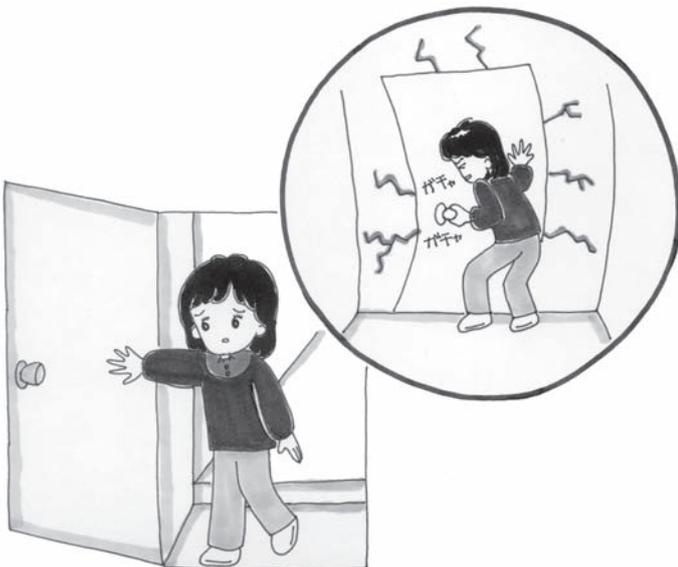
① テーブルの下にもぐる



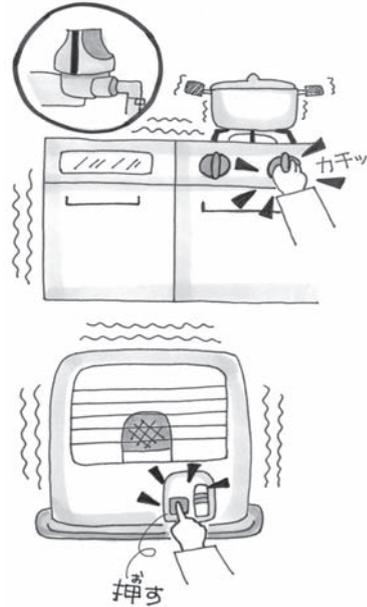
ゆれが止まったら

③ 窓や戸を開ける

◆ 避難のことを考え出口を開ける



② ガスやストーブの火を消す
ガスの元栓をしめる



ゆれが止まったら

④ 慌てて外に出ない



ひなん とき となり きんじょ ひとたち いっしょ ひなんじょ に
避難する時は隣、近所の人達と一緒に避難所へ逃げる

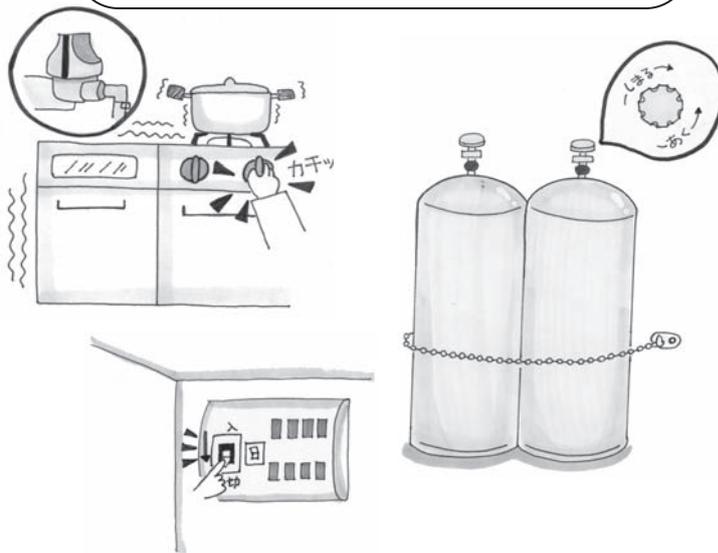
※家族が無事か確かめる。

※持ち物は出来るだけ少しにする。

① 下に落ちたガラスなどでケガを
 しないようスリッパか靴をはく



② もう一度確認!
 * ガスの元栓を閉める
 * 電気のブレーカーを切る
 * ガスボンベの元栓を閉める



③ 避難する時はヘルメットか
 防災ずきん、座布団をかぶって
 逃げる



④ ブロック塀や石垣などの近く
 を通って逃げない



ひなんじょ せいかつ
避難所の生活

- * 手話通訳者がすぐに行けません
- * 口話や身振り、絵や筆談で周りの人に伝える

- いろいろなお知らせがあります
- * お知らせの内容を、近くの人達に聞く
- * 近くの人達と一緒に行動する



こま 困ったことや分からないことは紙に書いて周りの人に教えてもらう

みみ き
耳が聞こえません

なに し か
何のお知らせか書い

おし
て教えてください。

みみ き
耳が聞こえません

なに お
何が起きているのか

か おし
書いて教えてください。

こんなときは・・・

くるま うんてんちゆう
車の運転中

- ① 道路のすみに止めて様子を見る
- ② 避難が必要な時は鍵を付けたまま避難する

みせ
スーパーなどのお店

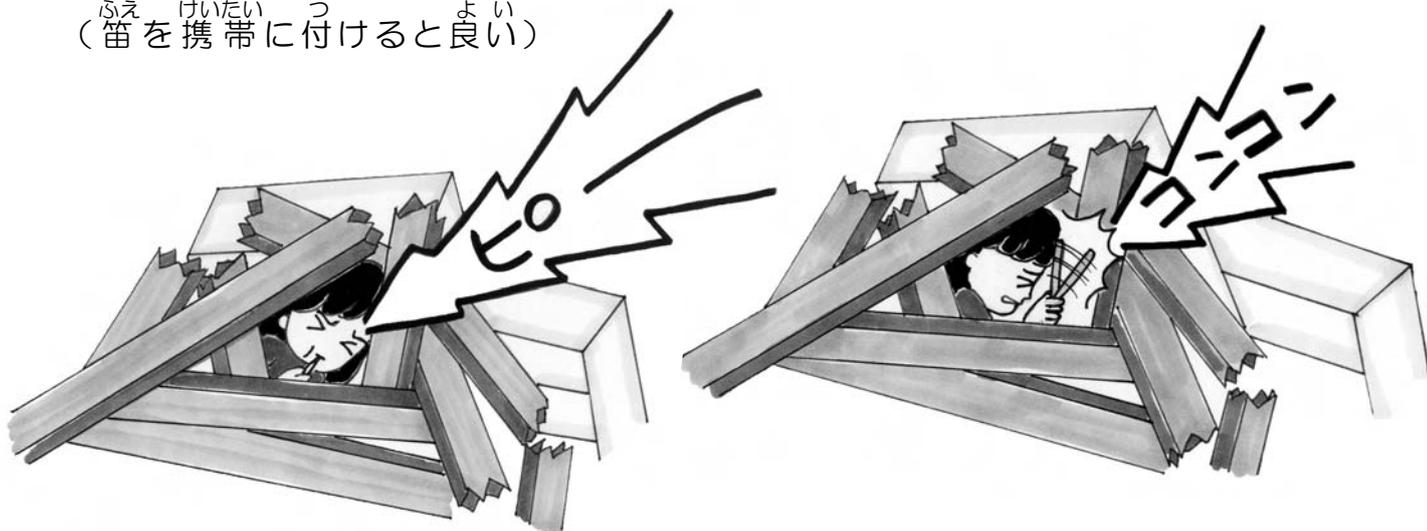
- * 上からの物が落ちるので、カバンなどで頭を守る(ないときは両手で守る)
- * 近くにいる人達と一緒に逃げる(エレベーターに乗らない)



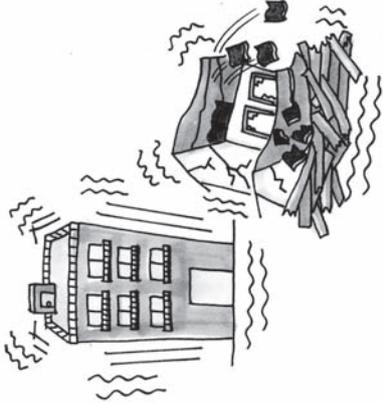
いえ こわ したじ とき
家が壊れて下敷きになった時

ふえ とき もの じぶん ばしょ し
笛をふく、ない時は物をたたいて自分のいる場所を知らせる

※自宅(自分の家)に居る時も、出かける(買物など)時も笛を忘れないようにする。
(笛を携帯に付けると良い)



しんどう 震度と揺れなどの状況

しんどう 震度	<p>きょう 5 強</p> <p>ものにつかまらな^{ある}いと歩けない</p> 	<p>じやく 6 弱</p> <p>た立っていることができない</p> 	<p>きょう 6 強</p> <p>はわな^{うご}いと動けない、飛ばされることもある</p> 	<p>7</p> 
いえ 家の なか 中	<p>◆ しょつき 食器などや（お皿など）^{ほん}本が落ちるものが多い</p> <p>◆ ささ 支え棒などで固定してない家具^{かぐ}が倒れることがある</p>	<p>◆ ささ 支え棒などで固定してない家具^{かぐ}のほとんどが揺れ動き倒れることが多い</p> <p>◆ ドアが開かないことがある</p>	<p>◆ ささ 支え棒などで固定してない家具^{かぐ}が大きく揺れて動き倒れることがある</p> <p>◆ かぐ 家具が飛びことがある</p>	<p>◆ ささ 支え棒などで固定してある家具^{かぐ}が大きく揺れて動き倒れることがある</p> <p>◆ かぐ 家具が飛びことがある</p>
いえ 家 ・ いえ 家の 外	<p>◆ てつきん 鉄筋などで補強^{ほきょう}していないブロック塀が崩れることがある</p> <p>◆ じしん 地震に弱い木造^{もくぞう}の家は、補強^{ほきょう}していないと瓦^{かわら}が落ちたり家が傾^{かたむ}くことがある</p>	<p>◆ じしん 地震に弱い木造^{もくぞう}の家は、補強^{ほきょう}していないと、傾^{かたむ}き倒れる家が多い</p> <p>◆ どうか 道路が割れ^{じわ}れたり山^{やま}が崩れることがある</p>	<p>◆ じしん 地震に弱い木造^{もくぞう}の家は、補強^{ほきょう}していないと傾^{かたむ}き倒れる</p> <p>◆ じしん 地震に強い丈夫^{じょうぶ}な家も傾^{かたむ}くことがある</p> <p>◆ じしん 地震に弱い鉄筋コンクリートの家は倒れる^{たお}ることが多い</p>	<p>◆ じしん 地震に弱い木造^{もくぞう}の家は、補強^{ほきょう}していないと傾^{かたむ}き倒れる</p> <p>◆ じしん 地震に強い丈夫^{じょうぶ}な家も傾^{かたむ}くことがある</p> <p>◆ じしん 地震に弱い鉄筋コンクリートの家は倒れる^{たお}ることが多い</p>

火 事

火事が発生したら

① 早く消す

* 火が出たら、小さいうちに消火器や水で消す

* 消火器がない時は、座布団で火を叩くか毛布をかぶせて火を消す



② 早く知らせる

* 近所に知らせて助けを願う

* 笛を吹くか鍋を叩き火事を知らせる

* 早く119番にFAXを送る



③ 早く逃げる

* 火が背の高さを超えたら、自分達で火を消すことは出来ません!! 逃げる!!

* 家族と一緒に逃げる

* 燃えている部屋の窓やドアを閉めて火が広がらないようにする

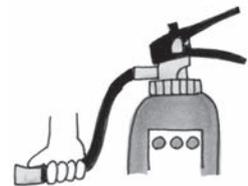


消火器の使い方

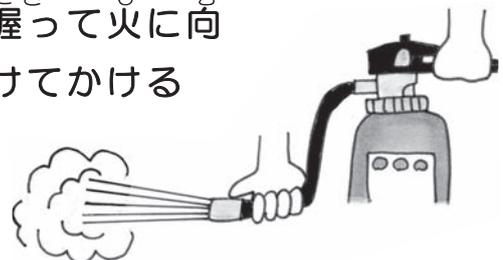
1. 安全ピンに指をかけ上に引き抜く



2. ホースをはずして火に向ける



3. レバーを強く握って火に向けてかける



かじ ひなん ちゅうい
火事で避難するときに注意すること

き ふく も もの かんが
着ている服や持ち物のことは考え
ないで早く逃げる

けむり なか しせい ひく に
煙の中は姿勢を低くして逃げる
(ハンカチかタオルをくちにあてる)



そと に ひ なか もど
外へ逃げたら火の中に戻らない

も いえ なか ひと い ちか
燃えている家の中に人が居たら、近く
に居る消防署員に知らせる



おお 大 あめ 雨

しゅうちゅうごう 集中豪雨 (ゲリラ豪雨)

しゅうちゅうごう 集中豪雨 (ゲリラ豪雨) とは・・・

- ◆ みじか じかん せま ちいき しゅうちゅう はげ あめ ふう
短い時間に狭い地域に集中して激しい雨が降ることです。
- ◆ つゆ お しゅうちゅうごう ふう
梅雨の終わりごろに集中豪雨がよく降ります。
- ◆ しゅうちゅうごう ふう やま くず いえ どしゃ うま
集中豪雨が降ると山やガケが崩れて、家が土砂で埋まってしま
うこともあります。
- ※ やま ちか ちか いえ きしょうじょうほう てんきよほう み ひなん
山やガケの近くの家は気象情報(天気予報)をよく見て、避難す
るとき ちいき ひとたち いっしょ に
る時は地域の人達と一緒に逃げる。

じかん うりょう さいがいはっせいじょうきょう 1時間の雨量と災害発生状況

じかん うりょう 1時間の雨量	さいがいはっせいじょうきょう 災害発生状況
ミリ 10～20mm センチ (1～2cm)	なが つづ 長く続くときは ちゅうい ひつよう 注意が必要
ミリ 20～30mm センチ (2～3cm)	そっこう げすい ちい かわ 側溝、下水や小さな川があふれる ちい くず ちゅうい 小さがけ崩れに注意
ミリ 30～50mm センチ (3～5cm)	やまくず くず お 山崩れ、がけ崩れが起きやすくなる
ミリ 50～80mm センチ (5～8cm)	まんこうから みず ふう で どせきりゅう お マンホールから水が噴き出る。土石流が起きやすい
ミリいじょう 80mm以上 センチいじょう (8cm以上)	やまくず くず どせきりゅう はっせい 山崩れ、がけ崩れ、土石流が発生する じゅうぶん ちゅうい ひつよう 十分な注意が必要

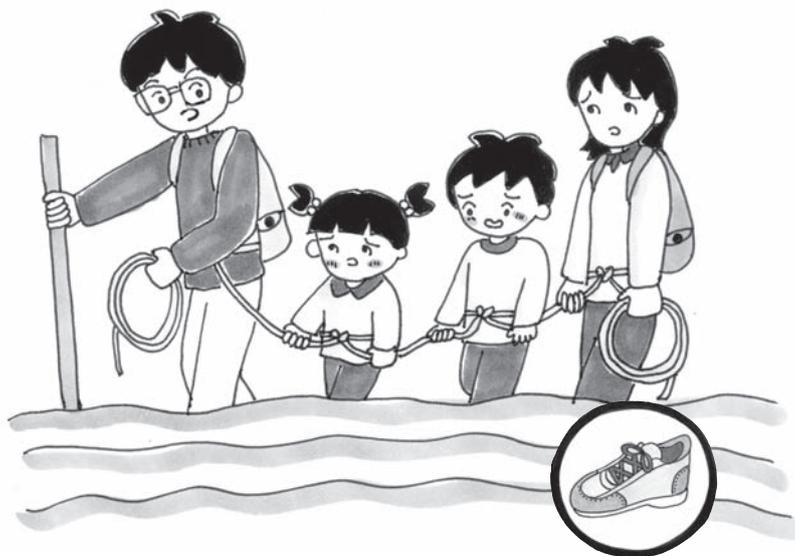
おおあめ こうすい あまみす
大雨で洪水(雨水があふれる)になった時 注意すること

は き 物

からだ ろーぷ ひなん
体をロープでつないで避難する

*はだしやながくつをはいて避難しない
*ひもでしばる靴が良い

*お互いの体をロープでしばり避難する



ある ぶか
歩ける深さ

ある ちゅうい
歩くときに注意する

*水がびざの深さになったら、外に出ない
*高い所(2階)で助けを待つ

*長い棒を杖にして安全を確かめながら歩く



たいふう

かぜ ひがい 風と被害

- ◆日本は毎年多くの台風がきます。 ◆強風と大雨で大きな被害になります。
- ◆台風の情報に注意して被害が出ないように注意する。

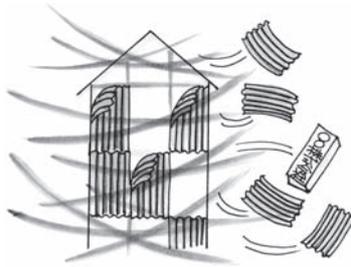
ふうそく メートル びょう
風速 10 m / 秒

かさ
傘がさせない



ふうそく メートル びょう
風速 15 m / 秒

かんばん と
看板やトタンが飛ぶ



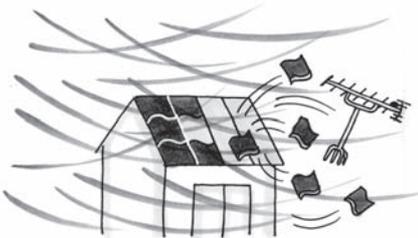
ふうそく メートル びょう
風速 20 m / 秒

き えだ お
木の枝が折れる



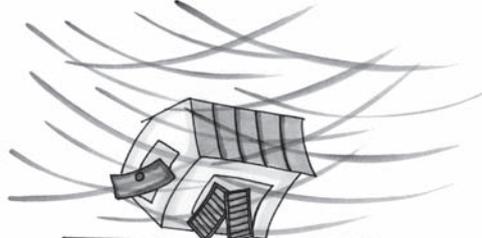
ふうそく メートル びょう
風速 25 m / 秒

かわら と
瓦やアンテナが飛ぶ



ふうそく メートル びょう
風速 30 m / 秒

あまど はず
雨戸が外れることもある



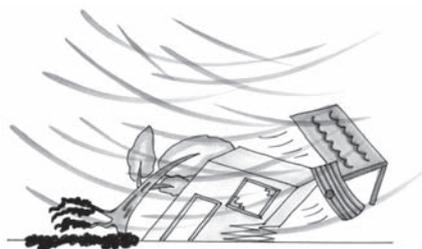
ふうそく メートル びょう
風速 33~44 m / 秒

からだ まえ
体を前かがみにする
こいし と
小石が飛ぶ



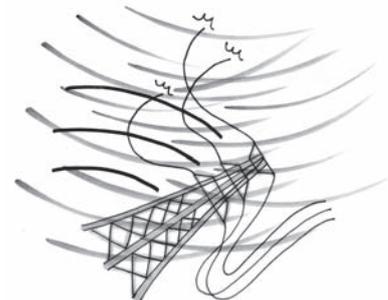
ふうそく メートル びょう
風速 44~54 m / 秒

たお いえ おお
倒れる家が多くなる
き ね たお
木が根こそぎ倒れる



ふうそく メートル びょう
風速 54 m / 秒~

てつとう たお
鉄塔が倒れる



聴覚障がいのみなさんへ

「自分の命は自分で守る」を合言葉に、このマニュアルで日頃の備え(災害が起きる前の準備)や防災の知識を身につけ、聴覚障がいの皆さんの自助に対する意識が高まることを目指しています。

かけがいのない(一番大切な)命を守るためにも、このマニュアルについて学習会を開催し聴覚障がいの皆さんと共に防災対策に取り組みたいと考えています。

皆さんは、今まで経験したことのない大きな災害、例えば、大地震が発生して逃げ遅れ家が倒壊(倒れて壊れる)して下敷きになった時、どうしますか?「早く助け欲しい!」と思うはずです。そんな時笛を持っていれば、「ピッー!」と吹いて、早く自分の居る場所を知らせることが出来ます。

- ◆笛をなくさないために携帯電話に付けると良い。
- ◆中に入っているIDカードは必ず記入(書く)する。
- ◆自宅にいる時、外出する時にいつも笛を持ち歩く。
- ◆夜、寝るときは携帯電話に付けた笛を忘れないよ枕元(枕の近く)に置いて寝る。(懐中電灯も置いて寝る。)

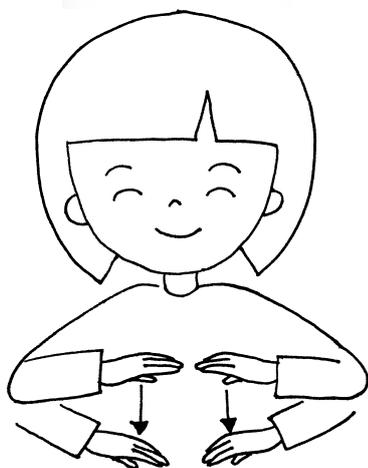
阪神淡路大震災では倒れた家具の下敷きになり多くの人達が亡くなりました。そんなことを考えると、家具類(タンス、食器棚など)は支え棒やL字型金具でしっかり固定し(動かないように留める)倒れないようにする。

このマニュアルは、災害が起きる前に準備することや注意することなどが載せて(書いて)あります。



平成22年3月

えなししゅわつうやくれんらくかい
恵那市手話通訳連絡会



あんしん

へいせい ねん がつ せいさく
平成 22 年 3 月 制作

せいさく えな ししゅ わつう やくれんらくかい
制作： 恵那市手話通訳連絡会

きょうりょく えな しちょうかくしやうがいしやふくしきやうかい
協力： 恵那市聴覚障害者福祉協会

かんしゅう えな し ぼうさいじょうほうか しゃかいふくし か
監修： 恵那市 防災情報課・社会福祉課

えな し しみんかつどうすいしんじよせいじぎょう えな しやくしよ
恵那市まちづくり市民活動推進助成事業 恵那市役所 ☎ 26 - 2111

えな ししゅ わつう やくれんらくかい じむきょく
恵那市手話通訳連絡会事務局 TEL/FAX0573-25-9428 E-mail:redstarlily3595@yahoo.co.jp